アロンディルの日記、第3部

アロンディルの日記

21日目

興味深い進歩だ。今夜、衛兵たちが洞穴のそばで見つけた侵入者を私のもとに連れて来た。最初は当然ながら憤慨した。お気に入りの召使と過ごせるひと時を邪魔されただけでなく、その侵入者がドーンスターからの乳搾りの女だと気づいたからだ。彼女も私を覚えていて、私に四六時中つけ回されていたと大胆な申し立てをした。そんなの嘘だ！本当はときどき彼女に気を留めていたが、彼女は町で1番目立つ娘達の足元にも及ばなかった。彼女は非難を続け、さらに招かれざる客を呼ぶ不安もあって、私は彼女を二度とドーンスターに戻さないと決めた。召使達はすぐに私の判決を執行した。

これを書きながら、彼女の遺体は今私の隣にある。滑稽だ。彼女の目はまだ生気で満ちている。おそらく今夜、新鮮な材料を使って新しい実験に挑むだろう。

アロンディルの日記、第**3**部

FormId	skyrim.esm:080D65
Owning plugin	skyrim.esm
Local FormId	080D65
Editor ID	dunYngvildJournal03
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal02
Value (gold)	5
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.